



地図入門

「総描」「転位」とは何か？等高線からどのように地形を想像するか？地形図と海図の「0メートル」の違いとは？無断転載を防ぐトラップ「幽霊道路」とは？近現代日本の「幽霊道路」とは？読み方から楽しみ方まで紹介。

今尾 恵介 著 (講談社)



ナショナルジオグラフィック 究極の洞窟

地球の内側をナショナルジオグラフィックが案内。ペトナムのソンドン洞窟、フランスのベルジェ洞窟、南極のマクマード湾など、「究極の洞窟」の数々を紹介する。主要洞窟には、構造や成り立ちがわかるイラスト付き。

ナショナルジオグラフィック編著 (日経ナショナルジオグラフィック社)



児童書

だれかさん

眠っていたねこが目をさますと、そばでねずみが眠っていたので驚いた。でも、かわいいなあ。ねこは、ねずみが起きるのを首を長くして待った。ねずみは目がさめて驚いたけど、ねこことねずみの優しい友情を切り絵で描く。

内田 麟太郎 文 (アリス館)

6/16~30 図書室 休館のお知らせ

図書室の内装工事を実施するため、6月16日(火)から6月30日(火)まで、図書室をお休みします。7月1日(水)からは平常どおり利用できます。

問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449



豊山俳句クラブ

青山克己 選

さくらさくらさくらの空となりにけり 田村多喜子

沈丁の香りを抜けてゆきにけり 杉浦みどり

白山を遠くに据へて花こぶし 坪井昭子

春光や風に手を振るパイロット 村上ゆり子

さくら道さくらが桜かさねをる 高木須磨子

萎える日と萎えざる日との沈丁花 小塚美枝

安藤春一

にわか雨軒すれすれにつばくらめ 石黒貴代子

はるかなる峰々白し春の旅 杉本衿子

疲れ果て見上げた空や柿芽吹く 坪井径子

柔らかき古里の訛や春灯り 青山とも子

暮れてなほ花菜畑の仄明かり 岡島 齋

いっせいにさくら空ごと崩れけり 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

静かなる田舎の朝は雪の降る音まで聞こえしを懐しみるる 近藤時峰

晴れ渡る夜更の月の皓々と流るる雲の影も美し 佐藤良子

「貯筋」を続けて転倒予防にと講話聞きしより早や三十五年 柴田満枝

大きな災ひもなく歩みきて迎ふる喜寿への春を待つなり 鈴木弘香

欠詠と易きに流るる吾が心 励ましつつに拙な歌詠む 水谷弘子

窓越しに春風さつと通り抜け 鈍る心に躍動感宿す 水野勝代

編集後記

「設計部は一体何を考えているの。欠陥だらけの飛行機を飛ばしてみたってしょうがないだろう。早く対策を立てて改修したほうがよいのじゃないか」今から約五十年前、戦後初の国産旅客機YS-11を製造した日航製(日本航空機製造株式会社)の社内では、パイロットと技術員たちの熱い議論が繰り広げられていた(航空ジャーナル社『YS-11物語』)▼YS-11は、昭和三十七年七月にロールアウト、わずか二か月後には初飛行している。それ故にかは分らないものの、初飛行後トラブルが多発し、大改修を行うなど苦難に見舞われ型式証明の取得は一年余り遅れた。就航後も様々な問題が発生するなか改修を重ね、百八十機が世界の空を舞った▼MRJの初飛行は当初予定より少し遅れている。YS-11の教訓も活かされているのである。そのような推測は、葦の髄から天井をのぞくようではある。しかし、ここは信じて静かに見守りたい▼そのYS-11も展示される新たな航空展示施設を、県が名古屋空港に整備する。完成予定はMRJ初号機納入と同じ平成二十九年。MRJの組立工場にも見学ルートが設置されるそうだ。本町に新たな人の流れを呼び込むこのプロジェクト。町に「観光」というチャンスの萌芽を感じさせる▼これらも見据えて町の魅力を内外に発信する方策を話し合っていた。町民討議会議を開催する。本町の飛躍に向けて熱く語り合っていたきたい。会場は、五十年前、日航製のあった地に建つ社会教育センターである。